

令和4年上半期救急概況

令和4年の上半期救急出場件数は6,187件で、搬送人員は5,444人です。

これは救急車が一日平均34.2件出場し、前年同期に比べると出場件数716件、搬送人員524人いずれも増加しています。なお、令和4年中の上半期救急自動車による搬送人員の内訳を年齢区分別にみると、新生児5人(0.1%)、乳幼児192人(3.5%)、少年198人(3.6%)、成人1,540人(28.3%)、高齢者3,509人(64.5%)となっております。

また、急病では高齢者(4,485人、68.3%)、交通事故では成人(498人、56.2%)、一般負傷では高齢者(1,161人、74.9%)が高い割合で搬送されています。

次に事故種別では、急病が最も多く4,068件で全体の65.8%を占め、続いて一般負傷959件(15.5%)、交通事故443件(7.2%)、労働災害124件(2%)、自損46件(0.7%)、加害25件(0.4%)、火災とその他(水難、運動競技含む)を合わせて522件(8.4%)となっております。

また、重症度別(確定時転帰)では軽症が最も多く、3,027人と搬送人員全体の55.6%を占め、中等症1,456人(26.7%)、重症787人(14.5%)、死亡174人(3.2%)となっております。

※パーセンテージにあつては、小数点第2位を四捨五入し表したものです。

事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
出場件数	24	0	2	443	124	39	959	25	46	4,068	457	6,187
搬送人員	1	0	1	416	121	40	881	20	34	3,594	336	5,444
不搬送件数	23	0	1	47	3	0	79	5	12	479	121	770

※出場1件につき複数搬送あり。